

表紙裏 創造と冒険（新しき世界へ 1971年4月号）

桜沢如一

冒険は大きい変化であります。沈滞した生活は死の生活であります。刻々未知の世界、永遠の世界を、未知の方向へスバラシイ速度でとびゆく地球、アラユル天体は、冒険こそ自由であり、正義である事を示しているかの様であります。

この点パンタレイ、万物流転、輪廻などより生成発展、日新日々又新などの方が、積極的で、創造的で、進歩的で、現実的で、現代的な表現であります。創造的変化の大きいのが冒険であり、冒険王が自由人の真の資格であり、最大の自由人が神であります。創造と冒険これ人生!

（「中央アフリカ横断記」より）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください